

リマナチュラル化粧品のおゆみ

～ オーガニック&ナチュラル志向 安心安全のニーズに応える 日本の植物性化粧品 ～
大自然の摂理と日本文化の歴史に学び、自然食運動の推進とともに歩みます

リマナチュラル化粧品の原点は、 その前身「リマ化粧品」にあります

世界的に有名な自然食運動*（マクロビオティック）の指導者である桜沢如一氏は、マクロビオティックの基本原理のひとつ「身土不二*」の考え方から、日本人のための化粧品には日本で古来より用いられてきた化粧料を使用することを提言しました。



これを受けて、昭和41年に発売されたのが「リマクリーム」です。当時社会問題化していた化粧品公害の原因ともいわれる鉱物油は使用せず、日本の伝統的な美容素材「椿油」を使用した、新発想の化粧品で、桜沢夫人・里真氏にちなんで名付けられました。

そして現代の自然派化粧品へ

その後、様々な紆余曲折を経て、リマナチュラルシリーズが世に出たのは平成7年のことです。

リマ化粧品のナチュラル志向はそのままに、長年の課題であった旧表示指定成分を配合しない処方完成。さらに伝承医学のひとつであるハーブを活かし、エイジングケアのニーズにも応えた新しい自然派化粧品です。

全国の自然食品店を通して自然食愛好家の顧客に支えられ、現在ではエイジングケア、スキンケア、メイクアップ、ヘアケア、歯みがきに至るまで、幅広くアイテムを取り揃えています。

*注 自然食運動

自然食運動の由来は江戸時代の儒学者・貝原益軒氏による『養生訓』にさかのぼります。その後、医食同源に基づいて食養、食育を提唱した明治時代の医師・石塚玄氏や、その影響を受けた桜沢如一氏や二木謙三氏、そしてまた両氏の影響を受けた人々により運動が広められ、昨今の食の安全を求める自然食の立場は一般化したとも言えます。

*注「身土不二（しんどふじ）」

地方に先祖代々伝わってきた伝統的食生活にはそれぞれ意味があり、その土地に行ったらその土地の食生活に学ぶべきであるとする考え方

「リマナチュラル化粧品」を 私はおすすめします

さくらざわりま
桜沢 里真

リマナチュラル化粧品発売当時(1986年)に頂いた推薦のことは

毎日、健康で楽しくお過ごしでしょうか。

「健康の基本は正しい食生活」ですが明るく楽しく生活するには「美しさ」も大切です。それは「豊かな心」がより健康を増進するからです。

昭和41年に自然食の愛好家の声にこたえて椿油で作られた化粧用クリームを「リマクリーム」と名付けられて以来、いろいろと変遷の歴史がありました。今般、新しい時代に向い、よりナチュラルな自然派化粧品が出来た事を心よりうれしく思っております。又、早速使用させて頂き満足しております。

ここにリマナチュラル（株）様が開発してくれました、「リマナチュラル化粧品」を私はおすすめします。

皆様の益々の健康と幸せな人生が豊かに送られる事を心よりお祈り致します。

合掌



さくらざわりま
桜沢 里真 (1899～1999)

山梨県生まれ。元日本CI協会会長。マクロビオティック料理創始者。食養によって幼少からの病弱を克服。1936年、桜沢如一と結婚。マクロビオティックの第一人者として国内外で研究指導にあたった。

リマナチュラル化粧品は40種100品目以上をラインナップしています



エイジングケア

基礎化粧品シリーズ

UVメイクアップ

ヘアケア

ハンドソープ・歯みがき

天然水

※主原料の秩父の天然水をミネラルウォーター「天恵水」として販売

お問い合わせは…

リマナチュラル(株) 東京都豊島区西池袋3-1-15 (本社・ショールーム: 池袋駅徒歩5分) / TEL 03-3982-5622 / FAX 03-3982-0793

リマナチュラル

検索

リマナチュラルのコンセプト

マクロビオティックという食運動の中で生まれた私たちは
真の美は健やかな体と豊かな心から生まれると考えています

真の美しさとは…

食が育む美しさ

日本人は野菜や穀物を多く摂る文化であったことから、肉食中心で油分を多く摂取する欧米人と比べて皮脂の量が過剰すぎず、キメの整った美しいお肌を持っていました。日本女性が世界に誇れる美しいお肌は食が育んできたといっても過言ではありません。

自然食の考え方では、自然の恵みである食物を大自然の法則にならって摂ることを推奨しています。



東洋医学で「医食同源」「皮膚は血液と内臓の鏡」といわれるように、適切な食により血液が清浄で身体が健康に保たれることこそが、お肌の美しさにつながるのです。

豊かな心が導く美しさ



化粧はお肌の装いであると同時に心の装いでもあります。化粧をすることで、心がきりっと引き締まる、いきいきと若々しくなる、と言われます。

医学的にも高年齢層への化粧療法の効果は認められつつあります。化粧が与えてくれる心の豊かさは女性をさらに輝かせてくれるのです。

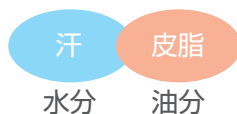
化粧品開発の基本スタンス

お肌の自然賦活力を引き出すために

現代は食生活の変化、大気汚染や冷暖房の普及等により、お肌にとっても以前とは比較にならない厳しい環境となっています。単なるイメージ先行ではなく、お肌にダメージを与えるストレスや紫外線等のトラブル要因から保護し、お肌の自然賦活力を引き出すことが、今求められていると考えています。

誰もが憧れる美肌の象徴は、赤ちゃんの柔らかい肌。その美しさは私たちが本来持っている天然のクリーム=水分(汗)と油分(皮脂)によって保たれています。

〈美肌のバランス〉



年齢とともに失われるこのバランスを補うために、リマナチュラルでは上質な水分と油分にこだわり、大自然の恵みを活かした化粧品づくりを追究しています。

日本人のための本物の化粧品を目指して

リマナチュラルでは「身土不二(しんどふじ)」の視点から、日本の風土が育んできた自然素材こそが日本人にとって最高の化粧料となると考えています。

例えば、リマナチュラル化粧品の多くに配合している椿油は、古来より大切に愛用されてきた歴史があります。また、科学的に見ても自然界でもっとも皮脂に近く酸化しにくい性質を持ち、肌から分泌される皮脂になじみやすいことが分かっています。

そこで、化粧品の基本となる水分と油分について、秩父山系の天然湧水、契約栽培の無農薬ヘチマ水、伊豆利島産の無農薬椿油を採用し、独自基準により自社調達しています。



椿油(無農薬)
伊豆七島利島産。皮脂に近く、酸化しにくい伝統的な美容オイル。



天然水
秩父山系に湧く、ミネラルバランスのよいミネラルウォーター



フムスエキス
白亜紀の土壌から抽出し、熟成させた天然の弱酸性水



ヘチマ水(無農薬)
静岡県で自然農法栽培された天然化粧水。*ビュアローション、ボディケアセラムに配合

また、現代の生活環境と肌ストレスの視点から、和洋の生活の知恵に学び、各種生薬(ハーブ)によるエイジレス処方も取り入れています。

皮膚に対する安全性を重視し敏感肌にも対応します

皮膚に対する刺激や悪影響をおさえるため、化粧品原料の選定には常に細心の注意をはらっています。例えば、石油は食品でも見られる通り、人間にとって異物であるため、生体内に取り込んだ場合の影響が懸念されていますが、これは生命器官のひとつである肌にとっても同じと考えています。

無添加… 鉱物油 石油系界面活性剤 タール系色素 ケミカルUV吸収剤

また、環境への影響が懸念されるシャンプー・リンス等の洗い流す製品については、生分解性にも配慮して洗浄成分を厳選し、人にも地球にも優しい処方を採用しています。



静岡県のヘチマ畑の風景

伊豆利島の椿林の様子

お問い合わせは…

リマナチュラル(株) 東京都豊島区西池袋3-1-15 (本社・ショールーム: 池袋駅徒歩5分) / TEL 03-3982-5622 / FAX 03-3982-0793

リマナチュラル

検索